

県央・林業部トピックス（7月号）

【邇摩高等学校】樹木医から学ぶ「森林資源の利用」について

邇摩高等学校では、森林・林業への理解や林業従事者の育成を目的とし、令和6年度から「森林科学」を開講しています。

今回は、樹木医・樹木インストラクターとしてご活躍中の岩谷美苗氏を講師にお迎えし、森林利用についてご講義いただきました。

授業では、アオダモの樹液でイラストを描いたり、ムクノキの葉でサクラの葉を磨いたり……とユニークな体験が盛りだくさんでした。中でも生徒たちが興味津々だったのが、試食の時間です。岩谷氏特製の「マツボックリジャム」「マテバシイチョコ」「どんぐり味噌」「ローズマリークッキー」など、一癖あるメニューも並びましたが、「美味しい！」という声も聞こえ、わいわいと楽しい試食タイムとなりました。

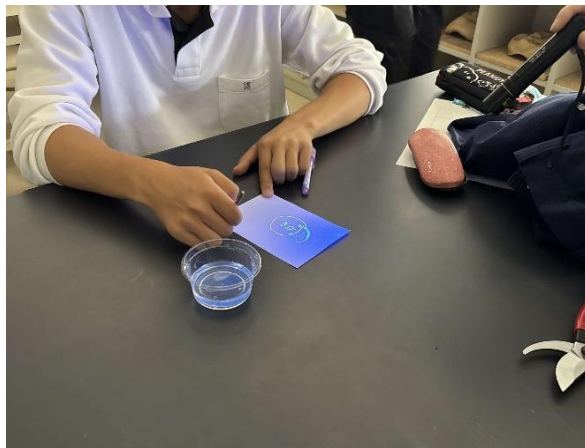
（※興味のある方は、岩谷氏のYouTubeチャンネルで調理方法が紹介されていますので、ぜひご覧になってみてください！）

試食のあとは外に出て、校内に生えている樹木を紹介していただきました。グレープフルーツ味がする赤い実や、大根おろしの香りがする葉など、身近にあるのにこれまで気にも留めなかった自然の面白さに気づくことができました。

この授業をきっかけに、生徒たちが森林を少しでも身近に感じ、さらに興味を持ってくれたら嬉しいです。



試食の様子



アオダモの樹液で書いたイラスト